

議会だより



# あやがわ



## もちつき大会（羽床保育所・12月4日）

定例会のあらまし	2～3 P
（子育て支援新制度対応システム構築業務委託料に1000万円など）	
4 委員会報告（農道維持修繕料に350万円など）	3～6 P
一般質問に教育施策や防災対策などで8人が質問	7～11 P
決算審査特別委員会報告	12～13 P
「町議会を見学して」（羽床小学校の児童による傍聴記）	14 P

2014

No. 31

No.

平成26年1月22日

# 新年のごあいさつ



綾川町議会議長  
河野 雅 廣

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を皆様とともに迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。新しい年が綾川町に繁栄をもたらす、素晴らしい年になりますよう心から願っております。

国は、景気回復のため様々な施策を講じておりますが、まだまだ厳しい状況下にありま。その中で国民が予想もしえなかった未曾有の大震災（東日本大震災）が発生し、日本経済に大きな影響を与えました。時代は益々混迷を極めておりますが、今、私どもの眼前に輝く二十一世紀の舞台が、大きく展開されようとしているのも事実であります。

近年の地方分権の進展により、住民の身近な市町村の役割は一層重要になっております。本町においては、少子高齢化への対応、農業の振興、商工業の活性化などの課題が山積しております。このように様々な課題を抱える中、議会と議員が果たすべき役割及び責務の重要性は益々増大してきております。

町民の代表である町議会と致しましては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は町民の皆さんであることを第一に、住んで良かったと思えるまちづくりの実現に向けて努力して参りたいと考えております。

町民の皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後一層ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年の

お慶びを

申し上げます

綾川町議会

- |     |       |
|-----|-------|
| 議長  | 河野 雅廣 |
| 副議長 | 田辺 健次 |
| 議員  | 宮本 勝利 |
| 議員  | 安藤 利光 |
| 議員  | 石井 和義 |
| 議員  | 野中 邦夫 |
| 議員  | 村瀬 秀則 |
| 議員  | 碓石 眞己 |
| 議員  | 造田 節夫 |
| 議員  | 鈴木 義明 |
| 議員  | 松浦 正昭 |
| 議員  | 横井 薫  |
| 議員  | 福家利智子 |
| 議員  | 福家 功  |
| 議員  | 川崎 泰史 |



# 12月定例会

## 4地区公民館に

## 太陽光発電・蓄電設備を

## 7000万円で設置



12月定例会本会議（12月16日）

12月定例会は12月16日から19日までの会期として開催した。

本会議初日は「綾川町税条例の一部改正について」「平成25年度一般会計補正予算」など議案12件の説明があり、8議員による一般質問の後、提案された各議案を関係常任委員会に付託し散会した。

17日から18日までは各常任委員会を開催し、付託された議案を慎重審議した。また、学校等再編整備調査特別委員会も18日に開催された。19日、本会議を再開し常任委員会・特別委員会の審議内容を各委員長が報告、採決の結果果全ての議案を原案ど

おり可決した。

9月議会で継続審議になっていた「平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定」は、11月に開催した決算審査特別委員会の審査内容について委員長報告、採決の結果、賛成多数で可決承認して定例会を閉会した。

今回の傍聴は、羽床小学校の児童17名を含む35名であった。

### 補正予算

#### ◎一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額87億8400万円から、歳入歳出それぞれ1億3244万円を増額し、総額を89億1644万円とした。



歳入の主なものは、地方交付税、県支出金の増額、繰入金の減額。

歳出の主なものは、障害者自立支援施行事業費

における扶助費、消防費で災害対策管理費の非常用発電設備工事請負費の増額、災害復旧費で農地災害復旧費の増額、給料改正等による職員給与の減額。

### ◎特別会計補正予算

#### ・町営バス運送事業

業務委託料の増額により、総額を4336万円。

#### ・国民健康保険

保険給付費の増額、後期高齢者支援金、介護納付金などの減額により、総額を29億7153万円。

## …委員会報告…

### 総務委員会 12/17

#### 税条例の改正

個人町民税の公的年金からの特別徴収のうち、

#### ・国民健康保険診療所

一般管理費、財政調整基金積立金などの増額により2億4657万円。

#### ・後期高齢者医療

後期高齢者医療広域連合納付金の増額により3億2376万円。

#### ・介護保険

介護保険運営事務費、認定調査費、基金積立金などの増額により26億52万円。

#### ・陶病院事業

医業費用を増額し、病院事業費用14億1408万円。

#### ・水道事業

営業費用で、給料改定による職員給与の減額により、水道事業費用5億6074万円。

仮徴収税額の算定方式の変更及び、金融所得課税の一体化に伴う条例改正。

#### 平成25年度綾川町

#### 一般会計補正予算

歳入歳出ともに1億3244万円を増額し、総

額を89億1644万円とした。

### ◎総務課関係

避難所である地区公民館等に緊急電源として、太陽光発電蓄電設備を設置する。順次、地区公民館8館、本庁、支所、綾川分署に設置の予定である。平成26年度は4公民館（綾南地区）に設置する。余電を施設で活用し売電は行わない。

羽床公民館のエレベーター工事が平成26年度に計画されているので教育委員会と調整する。設置後のメンテナンスは町で行う。

### ◎税務課関係

税務管理費で、課税誤り等による還付金と還付加算金が発生した。町税還付金の増額補正を行う。還付加算金の未払いについては、新聞報道の通りであり、お詫びする。

### ◎教育委員会関係

滝宮小学校給食調理場給湯器修繕工事、綾南中学校学力向上モデル校事業、綾上中学校体育館排烟窓修繕工事を補正で行う。

### 問 小中学校体育館の天井の耐震対策は。

答 平成25年の建築基準法の改正のため、天井部材を除去する方法で、5

カ年計画により対応する。

### 問 町営バス再編の進捗状況及び昭和地区のデマンドタクシーの運行は。

答 短期的には、こととでん岡本駅、綾川駅への乗り入れを行う。長期的には、坂出からこととでん綾川駅間の路線バス実証

カ年計画により対応する。

町土地開発公社所有の、田万ダム土捨て場の用地の売却が決定した。

### 意見

売却後の土地の維持管理について確認、指導を行うように。

#### 相続税法の改正

平成27年1月1日以降

に亡くなった方に適用し、定額控除が5千万円から3千万円に、法定相続人比例控除が1人当たり1千万円から600万円に引き下げられ、最高税率が50%から55%に引き上げられる。

#### 「ワンピ」収納

平成26年度から、町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の4税で実施する。



綾上中学校体育館の排煙窓



坂出綾川線・路線バス

**問** 綾川駅周辺の開発、及び利用者の移行は。

**答** 都市計画マスタープランで人口増につながる内容等で検討中である。利用状況はことごとんと連携して調査する。

**問** 校区の見直しは。

**答** 校区はそれぞれ、地域の歴史・密着性があり、現在考えていない。諸事情により、例外的な対応をする事はある。

**問** 広報メールの実施及び広報専任担当者の設置を。緊急雇用を活用してはどうか。

**答** 検討する。

**問** インターネット犯罪を防ぐため、学校・保護者・児童・生徒に研修等は。今後、校長会等で周知していきたい。

**要望**

● 学校周辺道路の歩道部分のグリーン舗装化を。

● 枋所幼稚園の園長の専任化をしてほしい。

**厚生委員会 12/17**

**平成25年度綾川町一般会計補正予算**

● 綾川町職員の人件費関係の補正である。

● 国民健康保険特別会計繰出金において負担金の確定に伴う財政基盤安定制度繰出金の増額である。

● 陶病院事業繰出金において地域医療技術向上推進事業繰出金を計上する。

● 障害者自立支援施設事業費で扶助費の介護・訓練等給付費の増額である。

● 子育て支援対策事業で子ども・子育て支援新制度対応システム構築等の業務委託などの増額補正である。

**問** 居宅介護、生活介護を受ける対象の増加数は。

**答** 昨年度と比べ約230人の増加で、約11%の増加である。

**平成25年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算**

一般被保険者高額療養費の増額、諸支出金において一般被保険者還付加算金の算定誤りによる未払い分を増額。

**問** 算定誤りの状況と今後の対応は。

**答** 資格喪失などで納め過ぎていた場合の還付加算金の算定誤りで、今後このようなことが無いよう注意していく。

**平成25年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算**

医療機器システム導入業務の計上、財政調整基金積立金の増額。財団法人地域社会振興財団からの助成金である長寿社会づくりソフト事業などの計上による補正である。

**問** 医療機器システムの保証期間は。

**答** マイクロソフト社が保障期間を設定している。

**平成25年度綾川町介護保険特別会計補正予算**

介護認定調査員の賃金等の増額。第一号被保険者保険料還付金は、過年度分の返還金の増額、償還金は、介護給付費負担金等の精算などによる増額補正である。

**問** 介護認定調査員を臨時雇用する理由と調査員は、専門知識を有する者か。

**答** 外部委託で対応していたが、委託先の事業所で、主任介護支援専門員が専任配置となったため委託が困難となり、臨時職員で認定調査を実施する。調査員は、介護支援専門員・保健師の専門知識を有する者である。

**平成25年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計補正予算**

長寿社会づくりソフト事業補助金として、一般会計負担金を繰り入れ、



高齢者ささえあいフォーラム2013講演会

**子ども・子育て支援事業**

第1回綾川町子ども・

子育て会議を10月22日に開催し、委員は、保護者代表、事業従事者、学識経験者の11名に委嘱した。

**問** 委員は、公募により

委嘱したのか。

**答** 公募ではなく、子ども

増額補正である。

も子育て支援法に基づき、町より委嘱した。現委員の中には保護者代表や地域代表者があり、住民の意見をいただけるものと考えてる。

**一人暮らし高齢者見守り事業**

「綾川町まちかどほつと歓事業」の名称により、



「あやがわあいフォーラム」と題した講演会を開催し約200名の参加があり、さらに各校区でモデル地区として見守りチームの取り組みを始めており、今後は、研修会等を実施し、モデル地区内の見守り対象者の状況把握、更には、声かけに取り組んでいく。

**問 介護予防事業の二次予防の取り組みは。**

**答** 現在、二次予防における運動機能訓練等は、陶病院と綾上診療所の2カ所であり、介護事業所に委託範囲を拡大し、健康に暮らしていけるように予防事業を推進していく。

**問 一般会計から国民健康保険特別会計への繰入は。**

**答** 国民健康保険事業の収支状況を見ながら、財政係と協議をしていく。

**報告** PM2.5の注意喚起の判断方法が、午前と午後の二段階で判断するよう改善された。



陶病院

**問 測定局はどのように決定されているのか。また、山側にも設置を。**

**答** 西から飛来してくる点と内陸部より、海側の方が発生源も多く数値が高いため、測定局は県が設置している。山側にも設置を要望していく。

**陶病院**

病床利用率は改善傾向

にある。入院延べ患者数は微増しているが、外来延べ患者数は、小児科の休診により5%の減少となっている。

**問 医師の確保は。また、薬剤師や看護師の確保は。**

**答** 色々な方面に働きかけ、早期に医師を確保できるよう努力する。薬剤師や看護師は、現状のところ充足している。

**要望**

透析患者が増加の傾向にある。出来るだけ近くで人工透析を受けたらという希望を聞く。今後、対応を検討してほしい。

**厚生委員協議会 12/4**

民生児童委員の任期が満了となり、合わせて12名の新旧委員での交代があった。

**問 民生委員の退職定年制の実態は。**

**答** 他の自治体では75歳としているが、本町では70歳である。退職年齢については今後の検討課題としたい。

**問 特定検診の無料化は。**

**答** 受診率で県下トップであるが、受診料の無料化については今後の検討課題としたい。

※PM2.5とは…大気中に漂う粒径25マイクロメートル以下の粒子で、肺の奥まで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が懸念される物質



中讃南部大規模農道の老朽化した横断溝

**建設経済委員会 12/18**

**平成25年度綾川町一般会計補正予算**

● 農地集積協力の補正

● 中讃南部大規模農道の老朽化した横断溝の修繕

● 台風17号で発生した被害で農地や農業施設10カ所の補正

● 間伐作業等の支援のための補正

● 急傾斜地崩壊防止対策

費は、県の追加割当内示による増額補正

**問 中讃南部大規模農道は、県道並みの通行量で県と協議して負担を要望しては。**

**答** 現段階では、譲与を受けた町が管理している。

**（綾南プラザ）**

平成25年度第17期の4月から11月までの経営状



ことでん綾川駅周辺

況の報告があった。  
また、高速を利用して来町される方へ(株)綾南プラザをアピールするため、道の駅の案内看板設置については、1月に完成予定である。道の駅入り口の看板は現在協議中である。

**ことでん綾川駅周辺**

**問** マスタープランに、まちづくり整備の構想を入れているのか。

**答** 策定中のマスタープランの中で、駅周辺の整

備内容について検討中である。

**問** 丸亀市において街路灯が転倒したが、町は点検するの。

**答** 今年度に点検調査の入札を実施する。

**問** 町道大橋向原上線の道路拡張に伴う向原公民館の移転はどうなっているのか。

**答** 地元がまとまり次第対応していく。

**建設経済委員協議会 12/5**

**土地改良事業補助規程の改正**

国の制度改正により県営ため池整備事業実施に伴う負担割合を改正するものである。

**南かざし団地配水管路の修繕**

**問** 町の施工範囲として宅内最終枡の手前までとなっているが、権利関係は問題ないのか。

**答** 権利関係に支障は来さない。

**合併浄化槽設置整備事業**

若干の補助枠を残す状況。また法定検査の受検率は35%と低調である。

**問** 法定検査の受検状況は町で把握しているのか。補助事業により浄化槽を設置しているのだから、受検しないのであれば、補助金の返還を考えるべきでは。

**答** 把握はしている。補助事業により浄化槽設置した者に啓発を行う。

**学校等再編整備調査特別委員会 12/18**

**綾南中学校改築工事報告**

12月20日から年末までに50本の杭打ち工事(南校舎)を行う。

**ランチルームの取壊しに伴う給食の提供の方法について**

**問** 外部委託により、現在働いている給食調理員はどうなるのか。

**答** 方式、業者が決まれば正式に調理員に周知する。

ば正式に調理員に周知する。

**問** 栄養カロリーと生徒に対するアレルギー対応は。

**答** 献立は中学校の栄養士が作成している。保護者、栄養士、学級担任との連絡を密にして、問題が起らないよう対応する。

**平成26年度保育所入所申込み状況の報告**

町全体で719名の申込があった。



綾南中学校の杭打ち工事



子育て支援センター

前年度に比べて23名の減である。

**問** 子育て支援センターの利用状況と担当保育士数は十分か。

**答** 1日平均、児童12人、保護者10人が利用しており、子育て家庭の良き相談できる施設。保育士は、今後利用状況により検討する。

**問** 西分保育所の跡地利用の状況は。

**答** 西分地区公民館運営協議会へ再度協議依頼することを検討している。





田池・東原自治会付近

**問** 昭和・畑田地区には国道32号への直接アクセスできる県道、町道が無い。地域の活性化、振興を促進するためには国道へのアクセス道路が必要である。そこで、昭和地区陶地区の関係自治会にお



鈴木 義明 議員

いて、道路整備促進期成同盟会を立ち上げ、要望書は既に町に提出している。平成26年度予算、第2次5カ年計画に、このアクセス道路の整備事業を加えて、方向性を示していただきたい。町長の所見を伺う。

**町長** 畑田、陶地区の活性化、振興の促進のため、また、通学路の交通安全対策としても、道路整備は必要であることは認識している。昭和、陶地区道路整備期成同盟会が設立され要望書も提出されていることであり、

県にも要望している。周辺の県道の整備状況や、交通量を勘案しながら、整備区間や整備方法を検討していく。



福家利智子 議員

**問** 県教育委員会では、土曜日授業の実施方法や夏休み期間の短縮を、必要に応じて検討するよう市・町教委に通知したとの報道もあった。土曜日授業の復活や夏休み期間の短縮には、教育現場に

たずさわる教員への負担、カリキュラムの作成、子どもとの接し方等、子どもにも負担を強いることはあつてはならないと思うが、授業日数の増加について教育長の考えは。

**教育長** 各学校において、授業研究や放課後の学習サポートを積極的に実施し、頻繁な研修や放課後まで延長された学習指導が、教員の負担感、多忙感、児童生徒の学校生活への嫌悪感を誘発することがないように、今後検討していく。

**Q** 学校の土曜日授業は  
**A** 今後、検討していく



授業風景

**Q** 子どもの体力向上の取組は、個々のやる気が原動力  
**A** 体力の低下は、体の基礎となる持久力が弱まり、辛抱強さ、集中力や積極性が欠けるなど、さまざまな調査やアンケートで報告されている。子どもたちの日常的な運動不足、家庭での朝食抜きや偏った食生活など、生活習慣が関わっていると指摘されています。綾川町の子どもの体力は、基準に照らしてどの程度

なのか。  
**教育長** 小学校・中学校の新体力テストでは、全国平均、県平均との比較において、男女とも体力合計点において概ね上回っている。どの子どもも楽しみながら運動ができる環境づくり、場づくりが体力向上には欠かせない。目標に向けて日々鍛錬する過程を経て、徐々に体力が向上する。個々のやる気が原動力となる。



**石井 和義**  
議員

**Q 主基齋田資料保管展示場について  
保存会との協議進捗は**

**A 教育長：支所建物を有効活用  
町長：保存会の意見も大切に教育委員会と協議**

町の歴史上極めて重要な意味がある。素晴らしい保存をするために、齋田を守って来られた皆様の意見も大切にしながら、教育委員会と更に協議する。

**問** 今年10月、主基齋田100周年記念事業実行委員会が発足し、組織と会則が承認された。この会則には「歴史的文化財資料の保管管理及び後世に残る展示場の整備を町行政と連携し協力して推進する」としている。

**この資料について、町文化財保護条例施行規則にある文化財台帳の所有者等の登録名について尋ねる。また当該資料の保管・展示場所について、保存会との協議状況と、将来的な、保管・管理及び展示の構想について、**

**教育長並びに町長の見解はいかがか。**  
**教育長** 主基齋田資料の有形・無形文化財の所有者及び保持者は、「主基齋田保存会」の名で記載している。現在、当該資料は、一部を生涯学習センターに、それ以外の

ものは綾上農村環境改善センター等に展示している。展示場所については、保存会からの提案を受けて協議をしたが、教育委員会としては、支所建物を有効活用したい。  
**町長** 主基齋田は大正天皇時代からのもので、



生涯学習センターでの主基齋田の企画展示



遊休農地解消対策事業での草刈り

**問** 政府は、生産調整(減反)を、平成30年度から廃止する。また、減反に参加した農家に配る10a当たり1万5000円の定額補助金も、平成

30年度から廃止である。その一方で、農家収入が増える試算を示しているが、小規模農家や中山間地農家には、所得向上の道筋が見えず、経営が厳しくなるが考えは、



**安藤 利光**  
議員

**Q 減反廃止で収入減による離農者の増加が**

**A 県内水田2000ha以上が遊休農地に**

めながら、新制度に取組んでいく。

る。栄養職員が配置されない場合、食物アレルギーなどの課題に対応したきめ細かい給食実施は困難である。一校一名の配置は急務であるが。

心的な役割を果たしている。しかし、1人の栄養職員等にかかる負担は大きいものとなっている。今後、増員等、配置基準の見直しを国に要望していく。

**町長** 県は、生産調整が廃止された場合、県内水田の14%、2000ha以上が減少すると予想している。県は、農地維持に向けて、担い手育成と規模拡大に努め、農地の集積を進める。町も生産基盤の整備、農協などと連携し、町民の動向を見極

**Q 一校一名の栄養職員の配置を**  
**A 栄養職員の配置基準の見直しを国に要望**  
**問 年々アレルギーを持つ児童・生徒が増え、原因物質も多様になってい**

**教育長** 現在、県の栄養職員等の配置基準により、4名の職員が配置され、子ども達の食育の中





福家 功  
議員

Q ご自身の進退はどのように

A 町の発展のため、全力で取り組む

問 藤井町長の業績は近年ますます加速をし、将来の綾川町を見据え、イオンや香川県農業試験場の誘致、昭和保育所の新築さらには綾南中学校の改築と、町民誰もが知るところである。わたくしも町民の一人として敬

意を表するところである。4月の選挙には、すでに2人の方が立候補の表明をされており、新しい綾川町を期待する声も多くなる。

うな中、藤井町長は町の将来を、更には、ご自身の進退をどのようにお考えなのか。

大切にし、町の発展を考えてきた。住民による住民のための政治ができなかつたら、この町は守れないという気持ちでいっぱいである。この町の繁栄、発展のため、全力で取り組む。



滝宮保育所



松浦 正昭  
議員

Q 滝宮保育所の改築を

A 耐用年数も勘案し検討する

は目を見張るものがあるが、滝宮保育所はほかの保育所と比べると

受け入れ、園児の送迎時の駐車場不足。築後相当の年数がたつた現在、保育所の改築を考えてもよい時期に来ているのではないか。

整備を進めている。滝宮保育所は、昭和49年7月に園舎が完成し、収容定員も180名となったものであり、既に39年がたっている。この間、平成19年度において、耐震補強工事を実施しており、併せて、外壁改修等の大規模

改修を実施し、経年による傷み、不具合の発生も適宜修理している。入所児数については、ここ数年、200名を超える幼児を受けいれているが、施設的には可能であると考える。幼児の送迎時の慢性的な駐車場不足の対

策は、駐車場を拡大することが困難な状況であり、利用については、駐車場内の通行に、充分注意するよう周知を図りたい。平成27年度から子ども子育て支援制度が開始され、新制度の計画策定のため、現在、保育等の希望を調査している。今後の保育の量的な見込みの把握に努め、定員数の見直しなどに対応できるように、耐用年数も勘案しながら、施設の状態により、改築は、今後の検討課題としていく。

問 昭和保育所新築、綾南中学校の改築工事も始まり、教育施設の整備に

劣悪な環境にあると思う。ここ数年の慢性的な定員オーバー状態の園児の

町長 本町の教育施設については、保育所、小学校、更には中学校と順次

整備を進めている。滝宮保育所は、昭和49年7月に園舎が完成し、収容定員も180名となったものであり、既に39年がたっている。この間、平成19年度において、耐震補強工事を実施しており、併せて、外壁改修等の大規模

改修を実施し、経年による傷み、不具合の発生も適宜修理している。入所児数については、ここ数年、200名を超える幼児を受けいれているが、施設的には可能であると考える。幼児の送迎時の慢性的な駐車場不足の対

策は、駐車場を拡大することが困難な状況であり、利用については、駐車場内の通行に、充分注意するよう周知を図りたい。平成27年度から子ども子育て支援制度が開始され、新制度の計画策定のため、現在、保育等の希望を調査している。今後の保育の量的な見込みの把握に努め、定員数の見直しなどに対応できるように、耐用年数も勘案しながら、施設の状態により、改築は、今後の検討課題としていく。



誘致された香川県農業試験場



造田 節夫 議員

Q 歴史・伝統・文化を広く町民に

A 生涯学習センターを有効活用

問 豊かな歴史や伝統、文化をもつ町の魅力は、生活への安らぎと潤いを与え、住みたくなる町づくりにもつながる。また、地域の遺産を知り、継承していくことがコミュニティを強め、活力を生むことになる。

地域の生い立ち、先人の生活や文化、その時代に生きた背景などを保存、探勝、展示と触れる機会を提供は、若い人たちにとっては町への愛着と誇りをもつことになる。滝宮公民館では、歴史や文化が刻み込まれてい

る地域の詩「滝宮ばやし」をまとめ、次の世代に送るため編集作業を進めている。これらの事例をひとつに、歴史、伝統、文化を広く町民に伝える施策について教育長の所見を伺う。

文化の尊重は、教育委員会として最も重要な施策と認識している。これらを学ぶことによって、郷土への帰属意識を高め、失われつつある絆を取り戻し、ひいては、町の活性化に資するものである。生涯学習センターが開

設して1年半を経過するが、20万人を超える来館者があり、郷土の歴史、文化を学ぶ拠点として有効活用を図っていく。また、滝宮公民館で行われている「滝宮ばやし」の編集作業は、この地の歴史、文化を次の世代に伝える有意義なものであり支援していく。



生涯学習センターでの史跡の展示



未整備の農業用水路



川崎 泰史 議員

Q 農業用水路における防災対策は

A 住民生活の安全確保を進めていきたい

問 異常気象による想定を超える降雨が発生している。

各種用水路等の増水について、コンクリート化が遅れ、崩壊の

危険性のある水路や、排水路の新設、増設などが求められる場合、どのような考えか。現在の降雨状況から、

防災上問題がある場合、農業用補助とは別に、防災的見地からの補助要綱を追加するべきでは。天災は待ったなしであ

り、住民の生命財産は危険にさらされている。緊急的に町は対応するつもりがあるのか。

町長 局地的な集中豪雨は、予測が困難である。農業用水路の整備については、土地改良法で定められ適正な水路断面を

決定している。防災的見地からの補助要綱の追加は、土地改良事業では防災を目的とすることは現制度では難しい。

局地的な集中豪雨による想定外の雨量により、流入量が増加し、水路設計の想定流量、排水能力

を超える状況になっているため、国、県に対して、地域の現状を伝え、要望していきたい。危険な状況、環境を十分把握し、財政の状況を鑑みながら、住民生活の安全確保を進めていきたい。

局地的な集中豪雨による想定外の雨量により、流入量が増加し、水路設計の想定流量、排水能力

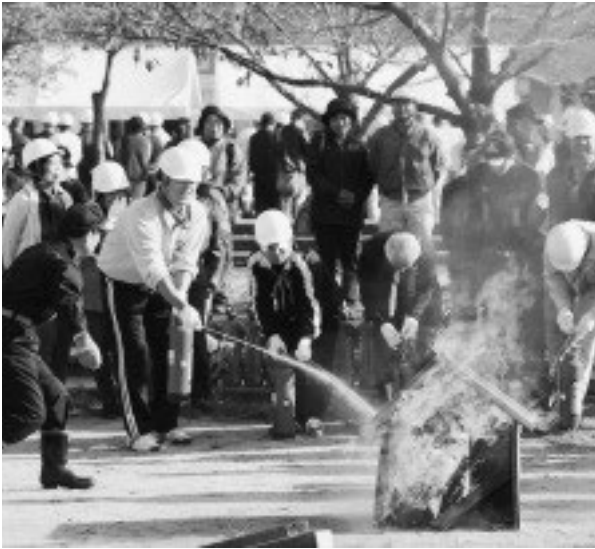


ほかにもこんな  
質問がありました

空き家対策

**問** 町内でも空き家が増え管理もされず、放置されたままの建物が増えている。町内の空き家の状況は。また、多度津町は平成24年度に条例制定をしたが町の考えは。

**答** 県内の空き家は7万1400戸（16%）で、町内では、推計値で47%である。  
町は、県が開設してい



町の防災訓練



空き家

る空き家を紹介する空き家バンクと協定書を締結し、空き家の有効利用と撤去の両面から対策をしていく。条例は、県条例の制定を要望している。

自主防災組織

**問** 住民が、安全・安心に暮らせる為に、大地震に対する取組が必要である。現在の自主防災組織率は。また、組織の育成指導が急がれるが対応は。

**答** 自主防災組織の加入率は世帯数で43・13%である。今後は、自主防災会が結成されていない自治会に対して、自治会長会で周知、啓発、町の防災訓練へ参加を促し、自主防災組織の重要性を考えていただく。

議員表彰

総務大臣感謝状（議員在職35年以上）



宮本 勝利 議員



安藤 利光 議員



村瀬 秀則 議員

四国地区町村議会議長表彰（議員在職19年以上）

# び企業会計の決算を審査・認定

## 財政調整基金に7億円を積み立て

平成24年度の決算審査を行う、決算審査特別委員会（委員長 横井薫 他6名）は、11月21日、22日、28日の3日間開会し、慎重に審議した結果、一般会計及び特別会計、企業会計の決算をいずれも認定した。

### 一般会計

歳入 97億4110万円  
 歳出 85億6786万円  
 差引 11億7324万円  
 そのうち、7億円を財政調整基金に積み立て、残金のうち7670万円を翌年度に繰越した。



執務風景

#### ◎総務関係

**問** 現在の職員数の条例定数との差は。臨時職員数及び賃金総額はどのような状況か。

**答** 職員数は、行革大綱等のほぼ予定の推移である。ただし、若干低い数値は若い職員が途中退職をするケースが影響している。臨時職員数は増加傾向にある。現在256名で、賃金総額は3億8832万6768円である。

**問** 385の自治会で、防災面等に対し、行政としてどのように地域との関わりを進めるのか。自治会組織は地域の活性化に大きく影響する。未加入者の加入促進の啓発を行い、増加している広報誌の戸別発送を抑えては。また、脱退、解散へ行

#### 政としての手立ては。

**答** 自治会加入率は現在70%弱で低下している。向上に向け、自治会連合会で議論されている。また、住宅開発時には入居者に組織結成の啓発活動を行っている。広報誌等の戸別発送は、以前に中止の検討もされたが、強い要望により、継続せざるを得ない。自治会組織の運営、存続は、各自治会で対応願う。

**問** 消火栓ボックス格納箱等の塗装が剥けている箇所は。また、当該施設を利用しての訓練等は行っているのか。

**答** 軽微な塗装あるいは補修は各自治会で対応している。再度、自治会長会等で周知する。また、消火栓を利用しての訓練



消火栓ボックス格納箱

**問** 現在、改築が進められている綾南中学校の工事で、他町の問題を鑑み、町はどのように入札を進めているのか。

**答** 本町の場合は監理監督者も充実しており、更には、業者、職員、学校関係者で毎週1回の打ち合わせを実施し、万全を期する体制である。

**問** 税金滞納者の対応は、県の徴収組織が機能していると思うがどのような状況か。

**答** 現在、香川県滞納整理機構が組織化され、滞納額が町県民税で30万円くらいでも依頼できる。今後依頼できる件については依頼していく。

**問** 現在、改築が進めら

**問** 公民館運営で、活動に際しての補助金交付の実態はどのようか。

**答** 補助金は、均等割り及び世帯割により試算し、それ以外に10万円を加算し交付している。交付算定については、今後、調整を図ることも必要と考えている。



# 24年度 一般会計と特別会計及

## ◎厚生関係

**問** 野犬の被害をよく聞くが、その対策は。

**答** 飼い主のマナーが重要である。野犬に餌を与える方が必ずおり、注意しても聞き入れてくれない状況がある。犬の不妊去勢手術補助と併せて、防災無線等を通じて、飼犬マナーの啓発をしていく。

**問** 町内で、多数の自治体からゴミの受入を民間企業が行っている。町はどのような対応か。

**答** 現在、観音寺市のゴミは町内企業が受入をし、三豊市からも今年度から受入を行っている。町は、条例で定める協定書は締結しているが、今後、協力金については、他市町の状況も考えて検討していく。

**問** 現在、ゴミの不法投棄の状況は。減量化対策は。

**答** 少し減ってきているが、平成25年度から不法投棄の多いところに監視カメラを設置していく。ゴミの減量化は、電動生ゴミ処理機購入補助など



ゴミの不法投棄

の上に、今年度からダンボールコンポスト講習会を開く等、減量化を図っている。

**問** 陶病院の患者数の減少で減収になっているが。

**答** 外来患者の増加に努め、病床利用率の向上、町内外の個人病院等と連携し、経営安定を図る。

**問** 国保は町単独の事業で、保険税の増額は見込めず、医療費は増加する。そのため、2年に1度の保険税の改定が、一般会計からの繰入が重要視される。財政調整基金に積

み立てる余裕があるのなら、一般会計からの繰入をすべきでは。平成25年度に保険税の税率改定を行ったばかりで、今後、財政係と協議する。

**◎建設経済関係**  
**問** 水田面積が減少しているが、必要時期以外に満水状態のため池が見られる。

今後、防災面を考慮して、水利組合との調整が必要では。

**答** 10万トン以上のため池ハザードマップが出来上がった後に、水利組合と運転推移等について協議調整を図りたい。

**問** イノシシの捕獲補助は、現在100頭余りの予算であるが、繁殖率を考えると対応は難しいのでは。

**答** 県費対応の予算としては100頭余りの予算枠であるが、県費の対象とならないものについては町単独事業で対応しており、今後、対応可能な予算を

確保したい。

**問** 農村公園は、樹木・電気関係・地盤の状況と関連する諸問題があるが、それに対する管理はどのように。

**答** 日常的な維持管理については地元にお願しているが、多額の費用を要する修繕費については町の対応としている。



宮北公園（滝宮）

算の範囲内で対応している。

**問** 綾南中学校周辺の道路整備はどのように。

**答** 平成25年度の町道中学校線の測量業務については発注済みで、現在地権者に対し用地交渉を行っている。併せて、その周辺の道路も同様の対応を取っている。

**問** 永富池の異臭問題の発生について、この解消を図るため、浚渫等の対応は。

**答** 現在、満水面から5mほど下がったところの給水管により取水しているが、異臭の原因は解明されておらず、今後も塩素等の薬品並びにろ過池洗浄等をもって対応していく。

**問** 町道の維持、修繕について、パトロールを全町的に行っているのか。

**答** 全町を対象に実施し、必要箇所については、予

町議会を見学して



熱心に傍聴している羽床小学校の児童のみなさん



羽床小学校  
六年 小西 真実

先日、わたしたちは綾川町議会を傍聴するため綾川町役場に行きました。

私は社会科で国会や内閣の役割を勉強しましたが、町議会の場も、議会を進行する議長が真ん中にいて、その下に答弁をする側と質問をする側の席があり国会と同じだなと思いました。また、大きな椅子があり、議場はとても厳肅な感じがしました。

議会はこれから数日間かれるということ、私たちの学校のことや道路のことなど、綾川町のいろいろなことについて時間をかけて話し合っていることが分かりました。一時間あまりの傍聴でしたが、私たちの生活がこ

のような話し合いによって一つ一つ決まってくることを知り、少し政治に関心を持ちました。わたしは児童会役員として羽床小学校のいろいろな行事の運営に関わってきました。私たちが行っていることも、大きな政治も「そこにいる人達のためにする」ということでは同じことだと思いました。



六年 前田 皓哉

町議会を傍聴しに行きました。傍聴席には、すでに何人かの方が来ていて僕たちが座るといっぱいになりました。傍聴は誰でも希望すればできると聞いて、議会に関心のある人がたくさんいることが分かりました。議場の中は静かでも緊張しました。

議会が始まると、毎回「〇〇君」や「はい〇〇です。」と丁寧な言い方がされていきました。時々テレビで見る国会中継と同じだなと思いました。話し合いでは自分が言うという意思表示をするために大切なことなのだなと思いました。

また、議員さんたちは納得するまで何回も質問をしていて、綾川町をよくしようとして一生懸命なのだと思いました。

僕は児童会役員として活動しています。卒業まで残り少しの時間となりましたが、みんなのことを考えて羽床小学校がよりよくなるように努力していきたいと思いました。

あなたも、議会を傍聴してみませんか。手続きは住所・氏名・年齢を記入だけです。次の定例会は、3月の予定です。

編集後記

●読者の皆さん明けましておめでとうございませう。昨年12月には、ことடன்新駅「綾川駅」が開業しました。周辺には、大型商業施設や公共施設が集積し、交通結節点になりつつあります。

●今後、町は新駅の利用客が増えると思っており、住んで良かったと思える町づくりを進めます。

●町の予算編成も今がピークです。限られた財源を効果的に活用し、町民の安心安全のための予算に期待したいものです。

●羽床小学校の生徒の皆さん、傍聴ありがとうございました。

●皆さんにとって今年が良い年でありませう願って議会だより31号をお届けします。

「変わらぬご愛読を」

議会広報編集特別委員会

- 委員長 安藤 利光
- 副委員長 福家利智子
- 委員 川崎 泰史
- 委員 福家 功
- 委員 横井 薫
- 委員 碓石 眞己